

「事業名：“オール近大”川俣町発・復興人材育成プロジェクト」

近畿大学 連携市町村：川俣町
 現地拠点：伊達郡川俣町 川俣町役場西分庁舎

事業のポイント

- ・複数の重点分野(A:農業・食、B:原子力・除染・リスクコミュニケーション、C:観光、D:集落復興・コミュニティ再生、E:SDGsを想定)を設定し、川俣町を拠点に、学生、地域関係者の双方を対象とした教育研究プログラム(プログラム群)を開発し、小中学生～社会人までの様々なターゲットに対して適用(実施)する。
- ・総合大学としての研究力・教育力・発信力を活かし、近畿大学の総力を挙げて、“オール近大”で事業を実施する。

人材育成目標

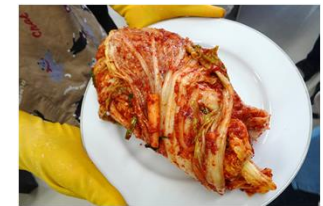
- ・SDGsや持続可能社会の構築への理解・マインドを有し、かつ、震災復興や福島イノベーション・コースト構想の実現に寄与する多種多様な専門性を有する未来志向の「復興人材」の育成・集積を図る。

2023年度の活動内容

- 1 人材育成目標の設定
 - (1)川俣町関係者との連携体制の構築(「川俣町発 復興人材育成検討会」の開催 等)
 - (2)人材育成目標の到達状況の確認、達成目標の見直し検討
- 2 教育研究プログラムの開発・実施
 - (1)農業・食関連【重点分野(以下、重)A】(「川俣町発 地域資源を活用した商品開発」、
「川俣町発 農業振興に貢献する技術開発・マーケティング」、
「川俣町発 食育・食農・健康教育」等)
 - (2)原子力・除染・リスクコミュニケーション関連【重B】(「川俣町発 放射線・環境調査教育」等)
 - (3)観光・ツーリズム関連【重C】(「川俣町発 地域資源を活用した観光開発」等)
 - (4)集落復興・コミュニティ再生関連【重D】(「川俣町発 集落復興・移住定住推進プロジェクト」等)
 - (5)SDGs関連【重E】(「川俣町発 SDGs推進プロジェクト」等)
- 3 市町村分科会
- 4 関連イベントの開催((仮称)川俣町×近畿大学 復興連携フェスタ2023 等)

取り組みによって得られる成果

- ・“オール近大”という学部を超えた全学的な取り組みを行うことにより、福島イノベーション・コースト構想の実現に寄与する多種多様な人材育成の基盤の形成や教育研究プログラムの開発の進展が期待される。
- ・西日本を拠点とする近畿大学が様々な関係者を巻き込みながら積極的に活動を展開することで、震災の風化が懸念される中、“オールジャパン”での復興活動の進展への貢献が期待される。



活動イメージ 等